二十八日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵　税 金十五錢
□一　部　賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五五五
發行所 福島縣平市田町十六番地 磐城毎日新聞社
發行兼編輯 發印刷人 森合英

料理屋に行けば酒も肉も魚もある。所が個人の家庭ではなか／＼それらの物が入手できぬ（助川啓四郎）

閼伽井嵐

磐城魂

鵜沼孝昌

最近頻りにヂヤーナリズムに依つてとり上げられ論ぜられてゐる磐城魂は即ち磐城精神（スピリツト）ともいへる。それは大和魂と同じく個々の磐城人に宿るところの何らかの形而上的な實體を指してゐる。しかして磐城魂は磐城人の行爲の發露に於いて之を捕へるより外に方法はない。磐城魂の研究は磐城に於ける諸種の文化産物を通路として表現せるそれ／＼の時代の磐城人の「生」を把握する事でなければならぬ されば磐城魂の研究は磐城の歴史、磐城の風土、傳統及び傳說等の研究でなければならぬ。

例へば遠くは內藤氏時代の農民騷動や近くは大瀧發電所問題の如き、何ものかの使嗾によつて動く傾向がある。そこに叡智がなく認識がなく瀾漫的になり易き傳統的な態度があるのではあるまいか。殊に幕末に於ける順逆論を生じた安藤父子の如きはよき實例である。父信正は昔代の大名として老中までつとめたのであるからさるとながら養子理三郎信男は順を唱へながら病と稱して江戸に引籠りたるが如き氣概なきを物語る物である。今日に於いても我々は氣概なき人々を見せつけられるのである故に磐城人は赤井獄が見えなくなれば歸つてくるといはれてゐる。そのくせ意地の惡いことは一通ではなく、他人の長所を決してほめない。かの澤村勘兵衞氏があれだけの仕事をしてさへ今の火葬場で切腹さへしてゐる。しかしヘーゲルは、自己と反對なもの矛盾するものの中に自己を認識すると」いつてゐるから或は惡口も反省の意味であらう。

渡邊外二ヶ村の『共同炊事』に就いて（一）

平保健所 田口之晴

貴社よりの注文により渡邊村赤井村飯野村に於て實施せる農繁期共同炊事の概況と特色併せて二三の參考意見を記述して見たいと思ふ

共同炊事實施部落數

渡邊村（晝野泉○、田中釜戸、兩中田、瀬峯石平、大澤○、和久、田部下町、田部上町十部落十三實行組合

赤井村（高萩）飯野村（谷川瀬）○印は昨年も實施

一、概況

郡下の農繁期に於ける勞力調査の必要性は時局の進展と共に益々その重要性を增し、農村人の常識化しつゝある現況にあるにもかゝはらず、之に附隨する農繁期共同炊事に對する認識更に向上せざるを遺憾と感じつゝありし所、昨年渡邊村農會技術員吉田技手殿來所之に關する當所員の助力を乞はる。此處に欣然として協力以て郡下に於ける先頭を切つて共同作業と共同炊事實施を計畫した次第である。本計畫に當り特に重點をおきたる事は本共同炊事の成否は直接今後郡下に於ける農村振興に重大なる影響あるに鑑み萬全を期し郡下は勿論、縣、乃至全國に模範たる共同炊事たらしめんとした。あらゆる角度より檢討を加へ飲料水、健康診斷營養食獻立、共同炊事前に於ける豫備講習と體力檢査により體力の消耗程度を前後に於て測定し比較檢討する爲保健衞生的見地からも解釋を加へ實施した次第であるが、大體豫期せる結果を得て關係者一同欣喜雀躍し、共同炊事の普及に更に一段の努力を契ひ、次年度は最小限倍加せしめんと心構中に期する所があつた。本年に至り更に本田技手殿と再三打合協議の結果大体十實行組合の實施を見、昨年期したる倍加の計畫に實を結び更に一段の努力を覺悟したる所、共同炊事に對する關心は他村に及び飯野村谷川瀬、赤井高萩の兩部落渡邊村觀察となり、更に視察により得たる昨年度の業績は兩部落の實施と進展單に渡邊村內に於ける倍加の計畫は他村を加へ着々計畫、諸種保健衞生上に於ける諸檢査を終了渡邊村泉田の十二日を先頭に目下共同同田植と共同炊事の旗幟を揚げて職域奉公の域に邁進しつゝある現況である。思ふに蒙を啓き舊弊を打破して、時局下に於ける勞力調査といふ大目的に向ひ就寢平均午後十二時といふ努力を惜しまなかつた渡邊村吉田技手殿の並々ならぬ努力と熱意に敬意を表すると共に人を得て助力の務を果し得た當所關係係員の喜びは尙一段と感慨深き所がある。

湯本町に發見された二巨匠の墓碑

吉田美風

（上）

「鄕土史研究會」で話をしたもの〻刷物を東田楓本氏の好意に依り、入手したので轉載して參考に供します。

「東北日本の湯の町なる湯本溫泉場には昔遊女屋湯女などもあつて浴客として名士巨匠、騷客が頻繁に來遊された事蹟がある。それが時世の變遷で常磐炭田の中心地炭坑の町となるやいつか昔を偲ぶ湯女のゆかしさは忘れられ名匠文人騷客の墓碑など湮滅又は埋沒の儘に弔ふ人もなくなつてゐるのが多い。私は三年前から東北研究の第一歩として南朝勤皇史蹟としての觀音山式內溫泉神社等の遺跡を調査してゐたが觀音山の山頂に近き南山腹巡路の傍に砂石で出來た約六七十貫位の自然石が地中に埋沒してゐるのを見付け、數人で最近發掘して見ると明かに沾巴墓の三字が顯はれたので沾巴の墓碑である事が判つた。碑の高さは二尺八寸四分やや瓢簞形の自然石で碑面には肩書に俗名（六之亟）の三字が明瞭他は判讀し難い下部に筆太に立派に沾巴墓とある沾巴は「寺の宇狐や傳ふ糸さくら」の句を以て知られる有名なる俳人で俗名高橋六之亟磐城平藩主內藤下野守政榮公即ち內藤露沾侯の弟子、門人中傑出した東北俳壇の名匠で元祿期文化華かなりし頃の人である。

雛谷

佐分利晃

蕨の莖の甘い薫りが
風のやうに兩頰をなでる
セメントの壞れた熊笹の上に
ほんのりと白い晝の月
壞れかゝつた吊橋の上に
たゞ私が釣糸を垂れてゐる
ときおり深い水の中で
煌めく鮎らが短劍のやうに
私の惚けた眠を刺す

『土』

加藤香風選

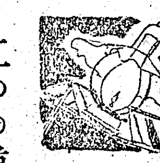
日本水素番傘川柳會

驟雨下にゐながら土の香がうれし　小野昌男

土付いて大鐵傘は今日狂ひ

大陸の土になる氣の御行李

土の香が家一ぱいに新開地



異人劍法【15】

（[illegible]上映）

車谷弘

下山望東畫

二つの道（六）

この家の主、高橋多一郎の書院へ、用人に伴はれて現はれたのは、絕えて久しい長谷新九郎であつた。眉の太いきかぬ氣を眉宇にたゝへた新九郎も、この一年の間に、すつかり陰影の濃い顏になつてゐた。

『さア、これへ……』

と書類を整理してゐた多一郎がふりむいて聲をかけた。新しい疊に秋の日がさしこんでゐて、書院は靜かに明るかつた

『お招びださうで……』

『うむ、まア坐るがよい』

無表情に頭をなで乍ら、敷居ぎはに座をしめた新九郎を、多一郎はチラとみて微笑した肉づきの豊かな顏だが時々人を見る眼に鋭い光りがある。恰福はいかにも春風駘蕩とした感じだが、多一郎の活潑な眼の動きは、鋭い刄物の切味をひらめかして、やはりどこか曲者といふ印象を興へる

用人が引退ると、

『まアもつとこつちへくるがよい。話もある』

と自分も膝をすゝめて、『大分退屈をしてゐる樣だの』

と改めて微笑つた。

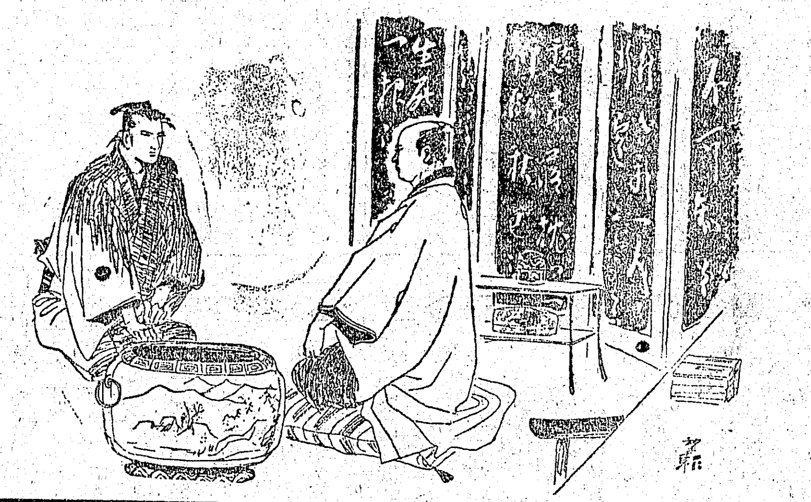
『はつ』

『だがこの頃の御時世に、毎日詣ばかりでもあるまい、もと當藩の竹內からくれ／＼もと賴まれて預かつてゐる其方だが、どうだ退屈しのぎに一働きしてみる氣はないか。一つ賴まれてはくれぬかな』

『と申されますと…』

『この夏の黑船騷ぎぢや。あの時の江戸の周章狼狽といふものは、其方も存じてゐようが、いやはやてんでお話にならぬ。それほど彼理が、黑船が恐ろしいかとたゞ／＼呆れるばかりだが、だが新九郎、黑船は恐ろしいぞ。分るか』

『はつ』



多一郎は賴もしさうに新九郎を見て、

『當分この黑船の事にあたるべき人物は、我が君齊昭公と島津の齊彬公をおいてない。いま我が君が再び要路に立たれたのも、臨終まで黑船渡來を憂慮された第十二代樣の御遺言に、賴むと仰せがあつたからだ。天下の輿望は今や悉く我が君齊昭公に集まつてをるが、我が藩はもとより、我等の責任もまた重大になつて來た。彼理は表に和親を裝ひ、開國を迫つてゐるが、裏にいかなる野望を抱いてをるか分つたものでないこの事はお膝元の江戸灣に侵入して空砲を打ち測量をなすなど、その人もなげける振舞に徵しても明らかではないか、彼理は我が國を小國とあなどつてゐるが我等はこれを恐れは致さぬが、さりとて黑船をあなどるわけにはいかぬ。勝敗の岐路はこゝにあり、我等の惱みもまたこゝにある』

だん／＼熱のこもる多一郎の言葉を、新九郎はぢつと聞いてゐた

『彼理は再來を約して歸つたが、再び來るものは彼理だけではない既に長崎には魯艦が乘り込んで來た。米魯が日本を狙ふと知つて、どうして英佛が傍觀すべき、次々に夷狄の襲來せん事は火をみるよりも明らかぢや。それには、今米魯の荒膽をとりひしげば、內には軟弱な士氣を鼓舞し、外には容易に諸外國の侮りも受けまい。どうぢや新九郎、其方如き者が徒らに退屈してゐる時ではないぞ』

『で、私に賴みと仰せられますのは……』

『そこでわしは、下田と函館と長崎、その他それ／＼諸國の港へ、ひそかに心きいた者を遣はしたい先づ何よりも黑船の實際を知りたい。また事あらば武威を示して、彼等をこらしてやるのもよい。かく考へて腕きゝの浪人をかねて抱へてゐるのだが……』

『黑船飛脚でござりますか』

『うむ、賴まれてくれるか』

『はつ、日かげ者の新九郎、及ばず乍ら…』

『では下田へ行つてくれい。伊豆の下田は東海第一の良港、どの黑船も一度はこゝへくるであらう。こゝが先づ第一の舞台ぢや』

おでん
たつた揚
やきとり
一平
平市一丁目

口腔外科
齒科一般
森合齒科醫院
院長 森合芳男
植田町 電話七一番

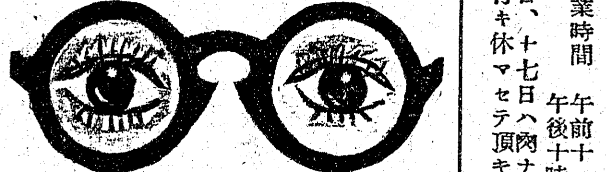
專門藥 りん病としけ
岩里別府淋藥 一週間分 壹圓五拾錢（弗）
痛みある病、熱ある病に…
岩里別府散 七包入 五十錢 十五包入 壹圓
製藥本舗 別府市岩里製藥堂
代理店 阿康藥局
平市古鍛冶町 電話四四 振替東京三〇〇五六番

鑛泉と割烹
鐵道指定旅館
小瀧
電話（小名濱）一〇三番

醫療藥品 工業藥品 有名賣藥 衞生材料 食糧品
架料 塗料 寫眞機材料 化粧品 吸入用酸素 計量器各種
お宅の体溫計は正確ですか？ 毎月十日は無料で体溫計を檢査して差上げます、どうぞ御遠慮なくお持ち下さい
計量器指定販賣所 みやこ染特約店
資生堂
小名濱町本町通り 電話一四七番

平 四倉
往復券2割引40錢
▽新舞子 約三丁
▽仁井田浦 約二丁
▽四倉海岸 約一丁
▽波立藥師 約八丁
▽鰐ヶ淵 約八丁
團体は特に御相談に應じます
合名會社 平・四倉乘合自動車 電話三七〇

メガネの店



早期檢眼
正確な眼鏡により視力を保全致しませう
各眼科醫指定處方眼鏡調製
玉屋眼鏡店 平市二丁目 電話635（呼）

トンカツ
とんかつ專門の店
營業時間 午前十一時 午後十時半
一日、十七日ハ肉ナシ日ニ付キ休マセテ頂キマス
かの家
平市仲田町 電話四六五番

內科 外科 小兒科 花柳病科
會田醫院
小名濱町上横町

耳鼻、咽喉科專門 レントゲン科
高柳醫院
醫學博士 高柳博明
平驛前 電三三六

三笠燒 味自慢
色羊羹 風味萬點
平驛前中央通 米屋最中店
モナカ屋がお茶受御土産として始めました、どうぞ最中と同樣御贔負を願ひます

耳鼻科 咽喉科
增田醫院
醫學博士 增田[illegible]之
▽入院應需△
平市紺屋町 電六五一

◇和文、歐文、タイプライター◇最新事務用品類◇文房具一式◇製圖並に測量用品◇謄寫板並に附屬品
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森事務用器商會
平市田町銀座街 電二九六番 仙臺振替五一〇番

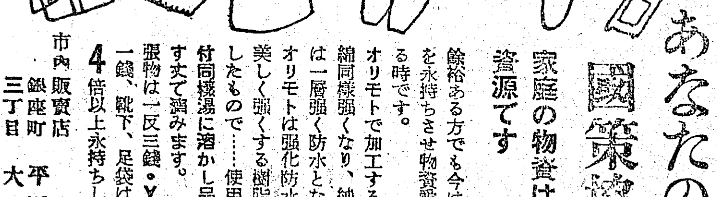
軍服調整
正しい入營應召には
軍服仕立に絕對的自信を持つ
陸軍砲工學校指定の經驗を誇る
軍服 乘馬ズボン 紳士服 國民服
（元陸軍御用達）
菊地洋服店
平市田町丸新デパート內 電呼二十八番

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九・九九

債券、公債、兩替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

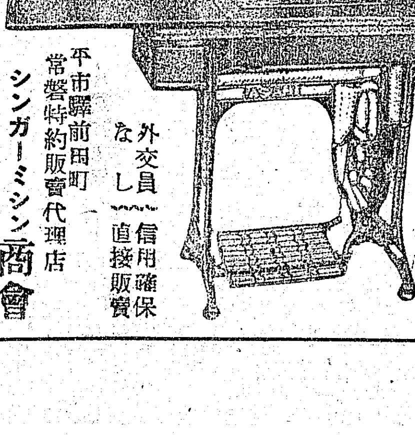
フタ八磁氣療院
平市中町公会堂通
フタ八印刷所內
電話一九三番

三五セン 五〇
すべての織物が强くなる
强化・防水を兼ねた織物糊
オリモト
スフ人絹綿絹
糊と强化防水劑を兼ねた
國策品
御推薦
東京聯合婦人會
日本女子大學
商工省加工足袋御買上
大日本少年團女子部
各支部で講習開催中



あなたの手で國策協力
家庭の物資は國家の資源です
餘裕ある方でも今は身廻りの衣類を永持ちさせ物資愛護の實を擧げる時です。
オリモトで加工するとス・フが純綿同樣强くなり、純綿、絹、人絹は一層强く防水となります。
オリモトは强化防水糊料と纖維を美しく强くする樹脂防水劑を化合したもので……使用法は在來の糊付同樣湯に溶かし品物を浸して乾す丈で濟みます。
服物は一反三錢・Yシャツは一枚一錢、靴下、足袋は一足六厘で4倍以上永持ちします。
特約店
市內販賣店
平マーケット
銀座町 三丁目 大黑屋
三丁目 太丸屋 電話三三番

一台のミシンで浮ぶ家庭の經濟
良いミシン一台買つて衣服更生
追從を許されざる斯界の權威
ミシン界の明星
ミシン界の王座
代表的國產
シンガー
アサヒ
精研舍
ニッポン
トーア
ナショナル
ブラザー
迷はず…迷はされずに安心して買へるミシン
◎型錄進呈



外交員なし 信用確保 直接販賣
平市驛前田町 常磐特約販賣代理店
シンガーミシン商會

[illegible]
梅雨

配給品純綿朱子傘	
大人用	3.90
〃	4.50
女學生用	3.10
防水マント	
通學用	6.76
大人用	16.26
蛇の目傘	
小型文化傘	2.08
極上蛇の目	2.26
レインコート男	11.00
オイルシルク女	14.30

平市 大黑屋

時局の要望に沿ふ

教學體制審議

國民青年校長會開く

濱三郡及平市國民學校長及青年學校長會議は昨報の如く今廿八日午前九時から平第三國民學校に於て開催、參集校長は百八名、劈頭神內學務部長知事訓示を朗讀、次いで協議に入り小池視學官、佐藤社會教育課長大村教育課長等がそれぐ〵指示事項を說明し午前中に指示事項全部終了休憩となつた、午後は引き續いて注意事項の說明があり午後四時頃終了

指示事項

一教育の振興に關する訓令徹底に關する件
二思想對策强化に關する件
三食糧飼料等の增產運動に關する件
四國民學校に於ける衛生並に養護に關する件
五青年學校教育の振興充實に關する件
六國民學校卒業者職業指導並に紹介に關する件
七軍人援護教育の徹底に關する件

注意事項

一國民學校の法規に關する件
二准訓導助教の採用指導に關する件
三姿勢並步行訓練の徹底に關する件
四戰線と銃後との連絡に關する件
五學校職員特別身体檢査に關する件
六事務能率增進に關する件
七國民學校一覽表提出に關する件
八火災豫防並資源愛護に關する件
九教職員共濟組合に關する件
10青年學校に關する調査報告に關する件
十一青少年團の整備運營に關する件
十二昭和十七年度送出義勇軍確保に關する件
十三國民貯蓄獎勵に關する件
十四國民學校職員俸給年功加俸赴任旅費請求に關する件
十五分類所得稅徵收に關する件
十六臨時家族手當及臨時手當支給に關する件
十七銃劍道の振興に關する件

希望事項

一常會指導に關する件
二木炭搬出事業協力方に關する件
三團栗蒐集に關する件

軍人援護

縣主催市町村軍人援護事務擔當者講習會は來月十二日から十四日まで平市並に濱三郡下關係者が參集して久の濱波立藥師で開催される

ラジオの指揮で

隣組常會

興亞奉公日に一ケ月の計

出直しの興亞奉公日は『飲まない、喰はない、吸はない』と云ふ消極的な自粛精神から一歩前進、積極的な『勤勞と生產擴充』方面へ協力することになり、七月一日の奉公日には全國一齊に隣組常會を開きラジオの指揮で司會近衛首相、江邊知事の放送を聞き『一ケ月の計は一日に……』と七月の實踐すべき事項を決めることになり、今廿八日區內會を通じ全戶へ通牒を發した

興亞奉公日の式次第は夜八時廿五分までに全市の隣組員は何れも各々の常會場に集りラジオの指揮を待つ、同八時卅分放送開始、敬禮、宮城遙拜、戰歿勇士に感謝を捧げ皇軍の武運長久を祈念默禱、次いで大政翼贊會近衛總裁の講演、本縣江邊知事の挨拶を聽取して式を終へ隣組常會の協議會に移る

四倉漁港に〝活〟

四十萬圓で第三期工事起し

暗礁除き防波堤築造

四倉漁港第二期修築工事は今年度五萬七千余圓の豫算で工を進めつゝあり明年度を以つて第二期工事完了するが同漁港修築は船溜を作つたのみで防波堤の築造無く港口も暗礁が橫り風浪の高い際は危險で港內へ避難すること困難で、折角港內船溜を擴張しても第二期工事だけでは佛作つて魂を入れない形となり利用價値極めて尠ない爲四十萬圓の工費で十八年度から第三期築港を繼續するやう町當局及漁業組合が主となつて農林省へ猛運動を行つて居り同港は三百萬圓の水揚げする優良漁港であるから實現可能も期待かけられてゐる

第三期工事は工費四十萬圓で中央港口沖合へ延長百五十米の防波堤を築造して風浪を防ぎ、港口の暗礁を取除いて浚渫、港口を擴張船舶が自由に出入出來るやうにし現在の西口を閉鎖して港內へ高浪の入るを防ぐ理想的な漁港計畫である

工事を續行し魂を入れる

平土木監督所長

四倉漁港は第一、二期を通じ修築費四十余萬圓投じ、明年度に於て第二期築港が完了すると優秀な船溜が二ツ出來ることになり、大型漁船から中型漁船合せて百艘も一時に入港可能となり從つて水揚げも激增すると思ふが防波堤無く、港口に大きい暗礁が障碍し風浪の際は漁船の入港困難だ、兩港口を閉鎖しないと流砂も防げ無いし危險の無い避難港とせぬ限り船舶も安心して寄港出來無いから、『防波堤築造、暗礁除去に依る港口擴張、西港口閉鎖』は急速に行なはねば完全な漁港とならぬ、當町局が熱心に運動續けてゐる樣だから實現可能と思はれる

害虫驅除・廿四万匹

兒童の協力で桑園增產

平蠶業取締所では先に管內各國民學校に呼掛け桑園害虫驅除を行つたが、この程同成績が報告になつた、これに依ると害虫捕穫は枝尺取虫、金毛虫、桑巢虫等百二十四萬三千四匹で、これに參加した學校は郡內四十六校、同作業出動延人員二萬八千七百七十九名昨年より一萬名の增加で優秀な成績を收めた。このため霜害を被つた桑園も豫定以上の收穫あり同所員を感激させた、尚三萬匹以上捕穫した學校次の如くであるが川前桶賣校の十萬四千匹が最高である

△國人校二萬九千△高久校五萬五千△磐崎校二萬八千△赤井第二校九萬四千△永戶村渡戶△平市第四校六萬△渡邊校二萬九千△山田校七萬七千△上遠野校六萬六千△入遠野校五萬△川部校二萬二千△校三萬△永戶村永井校二萬四千△同村合戶校四萬一千△澤渡校六萬八千△中三坂校二萬二千△神谷校六萬五千△草野校二萬一千△大浦二萬一千△小川校三萬△川前校六萬四千△川前村桶賣校十萬四千△川前村小白井校二萬四千

泉の共同作業

廿年目で結實・範を示す

泉村の田植も終りを告げたが大字玉露では十九年前から既に共同田植を實施して今日に至り目下叫ばれてゐる共同作業、共同炊事は二十年前から範を示してゐると云ふ模範部落だが篤農家として知られた現志賀村長の合理化した先見せ窺はれて嬉しい本年も田植には瀧尻部落で四隣組、及び劍瀧の一隣組が共同田植を實施して、好成績を收めてゐるに鑑み、今後の泉村は合理化した共同作業や共共同炊事等旺に實施されるものと全村の動向を注目されゐる

砂糖不安無し

不足分は每月補充配給

最近砂糖の配給に異狀を來し配給券交附を一日でも遲れると『もう砂糖ありません』と配給所から拒絕されるので家庭の主婦さん方大恐慌を來してゐる

市產業課で實情を調査した處市民人口と縣當局の配給數量に相當開きがあつて配給砂糖は實際に於て不足を來してゐる、然しこの不足分は每月特配砂糖で充分間に合つてゐる譯だと右について市增田產業課長は心配して語る

砂糖が無いなどゝ云ふことは市民に不安を與へるので充分考慮し特配の分で補充してある筈です、甲の店で賣切れても乙の店にあることもあるでせうから配給する商店でこの點に注意し市民に不安を與へないやう注意してほしい、補充の分が遲れるときもあるでせうから『間も無く配給されますから一兩日待つて下さい』とでも親切に話してもらへる家庭でも安心出來るでせう

同僚の通帳盜む

不良坑夫忽ち捕る

湯本町入山炭礦東新寮五號室坑夫佐藤未藏君（二〇）が二十五日仕事から歸つて見ると同君が日頃貯めてゐた一千余圓積立金の常陽銀行湯本支店預金通帳がトランクの中から何者かに盜まれてをるのを發見狼狽して平署に屆出たが同日午後に湯本支店から二百四十圓を拂戾してあるので極く近邊の者と睨み同礦請願下川岡同町駐在根本（善）根本（磯）三巡查が廿七日同町を徘徊中の岩手縣岩手郡松尾町生れ同礦東新寮居住坑夫田村和悅を被疑者として檢擧取調中であつたが今朝に至つて前記犯行の一切を同人は自白した金は全部遊興費に與つてゐたものである

吉田平一大佐

今日嚴肅裡に市葬執行

中支前線で名譽の陣歿を遂げた平市材木町居住吉田平一軍醫大佐の市葬は今廿八日午後一時から市公會堂に於て嚴肅裡執行、內鄉村の菩提寺滿藏寺へ埋葬した

故吉田大佐は內鄉村白水出身で明治卅九年磐城中學卒業、仙台醫專に進み大正四年同校卒業後陸軍三等軍醫補として第二十七聯隊附で滿洲駐劄、引續き西比利亞事變に參戰、其の後滿洲駐劄に戾つて昭和四年札幌陸軍衛戍病院附、同八年滿洲事變に出征、同十一年八月二等軍醫正に任ぜられて豫備役編入、錦村吳羽紡績勤務中同十四年九月應召、若松病院長から十五年四月出征〇〇病院長として健鬪中惜しくも陣歿陸軍々醫大佐に昇進した、享年五十四才

疫痢で死亡

チブスも發生

平市新町八番地伴武吉次男將二郎ちやん（六）は腸チフスと決定昨二十七日隔離病舍に入院したが同市道匠小路二十六番地蠣崎茂次男廣部ちやん（三）も疫痢と決定隔離する間もなく同日死亡した

大敷網

問題視さる

競爭入札と決定

小名濱大敷網明年度の經營者選定の件は來る三十日第三回聯合委員會を開き經過を報告し愈七月十五日には競爭入札に附す事となり留札二十五萬圓（五ケ年）には食指動いた連中もどうやら尻込みの態で成行きを注視されてゐる

鰹漁順調

各船續々水揚げ

昨二十七日第二東日本丸は鰹五千尾を氣仙沼繁進丸は一萬四千尾を小名濱港に水揚げした尙江名町福圓丸は神島沖で鰹七千尾を漁獲した旨無電があつた

事變紀念

前線慰問號發行

今次事變四週年記念日を迎へ本社は鄕土平市出身の前線勇士を慰問し勞苦に報ゆるため、七月七日（八日附）事變記念號を發行、鄕土の將兵へ漏れ無く贈呈することになりました。全市民の御支援を切にお希ひ申上げ次の懸賞原稿を募集致します。

懸賞原稿募集

短歌　『題』事變にちなんだもの　新妻久滿夫選
俳句　『題』同　渡邊何鳴選
川柳　『題』同　本社文藝部選
兒童作文　本社文藝部選

投稿規定

切　七月三日までに本社到着
入賞　短歌と俳句共天地人三篇入選、兒童作文は學年別に各一篇宛入選
發表　七月八日附記念號紙上

原稿は短歌、俳句はハガキ一枚に三首限りとし何枚應募するも可、兒童作文は一篇二十字詰二十行の原稿用紙一枚迄

磐城每日新聞社

愛婦增產譜

馬鈴薯百卅貫收穫

平愛婦分會の增產報告書一同愛婦會鎌田分區では既報の如く鎌田地內第三校東側に水田一反三畝を借受け馬鈴薯を播種同分區員二十六名が交代に手入れしてゐたがこの程百三十貫の收穫あつたので各分區員五貫平均に分配、台所の代用食に當てた尙ほ搔槌小路分區の擔當した公會堂南側五畝の水圃は先の出水のため冠水し豫定より減收、四十五貫の收穫あつたので三貫宛分配した

海產物配給所

塩干物目標・小名に設置

小名濱町では嚴に鮮魚の生產地としての出荷統制組合の機構が整備し、これと對比の關係にある需要地としての塩干物及び陸送品鮮魚介の配給所の必要に迫られてゐたが小野晋平氏等が中心となり縣との諒解の下に近く小名濱海產物配給所の成立を見る模樣で有限會社資本金二萬圓程度で高木忠治氏が代表社員としてその衝に當る向である

魚類關係

聯合會結成

本縣下の鮮魚出荷配給機構も業者に透徹し、その成果も順調に進みつゝあるに鑑み縣では昨二十七日福島市公會堂に於て〃福島縣鮮魚出荷統制組合聯合會〃及び〃福島縣海產物配給協會〃樹立創立委員會を開き、各關係方面の代表者參列して具体的な協議した

泉通運で

建物新築

逸早く新体制に依り合同した泉通運株式會社では泉本社並に小名濱出張所（臨鐵前）の改新築も決定、双方共着手するが本社は現事務所を取拂ひその跡に八間半四間總二階工費一萬五千圓和洋折衷の堂々たる建物小名濱出張所も同經費で着手する事になつた

泉信組農倉

一萬余圓で新築

泉村信用組合では第二農業倉庫新築の爲め來る三十日地鎭祭を執行するが敷地は現事務所裏手二百余坪の場所で總工費一萬五千圓約五十坪の建物で縣助成金もあり竣功は明年迄の豫定である

前線慰問通信

★☆★☆★【31】☆★☆★☆

來て見れば貧弱に驚く

寒山寺の鐘

蘇州より上海の途次

縣議　木村守江氏

六月四日晴天午前八時三十分發で南京より蘇州に向ふ、午後〇時二十分蘇州驛下車、馬車を驅りて寒山寺に向ふ。來て見ればこれが寒山寺の鐘かと疑はるゝ位に貧弱なものである、月落烏啼の詩の碑も本物は燒けたとかで後年再建されたものが傳はり石刷とされてゐる、こゝから西園といふ所に行くこゝは戰前は常に百名以上の僧がゐたといふ實に壯大なる伽藍である、特に玆に祭られてある五百羅漢は實に立派なもので弘法大師やマルコポーロの僧が加へられてある

次に虎丘山に行く、この縣城は吳越の戰で有名な吳王闔閭が三千人の人夫を三ケ年かけて築造したといはれる所で蘇州一帶の平原を一望し得る要地である次に獅子林に行く、總樂地であるが人工の美を極めた納涼の勝地である、次にこの地に澤山ある古蹟の中で只一つ登り得るものに北寺塔がある。相當古代のものらしいがまだしつかりしてゐる九階ものである

蘇州には見るべき色々なものがあるが獅子林を除けば何れも寺院のみである、午後七時蘇州より汽車にて上海に向ふ、田植がやつと始められたところである

六月五日晴天、上海に來た慰問使一行は吾が家に歸つたやうな感をして寬ぐ、午前中登部隊を訪問種々打合せを終り歸鄕の土產物などを買ふ。菊地中佐、鈴木忠太郞、菅野庄太郞君が來てくれる、夕刻より電光と共に夕立が來る

六月六日晴天、昨夜の夕立の爲めに余程涼しい。午前八時二十分發にて杭州に向ふ。流石は江蘇省浙江省を貫く鐵道なので沿線一帶住民の生活も裕福に見える、野良も見渡す限り立派に耕作され縱橫整然たる田植が終つたばかりである、田植であるが南京を中心として奧地は極めて亂雜であるが上海近くになるに從つて日本と同樣繩を引いて田植をしたり除草をやつてるのが目につく、途中幾個所かの爆破された鐵橋を通り午後一時三十分杭州に着く、早速〇〇部隊を慰問する高級副官河野中佐は嘗て鄕土部隊を率ゐて杭州灣上陸戰に參加した人であつた色々な話が出る、生憎作戰中なので三十里以上の遠方に散在するので連絡に六ヶ敷ことの爲めに鄕土部隊の兵隊が少ないと云ふ。仕方なしに〇〇部隊を訪問する、こゝには久野曹長（大輪村）がゐて自動車から降りる自分に飛着いて來る、誰れか暫く判なかつたが久野保雄君であつたので故鄕の話で部隊に挨拶をするのも忘れてしまつた、

こゝには縣出身の兵隊が三十名程ゐた、濱通りの人としては阿部三郎（福浦）折笠章（入遠野）久野保雄（大浦）平正雄（大甕）伊藤政義（石神）岡本一（八澤）武田正（雄神谷）木田朝義（四倉）手塚勝次（好間）の諸君である、色々な話の中に

（一）先月の雜誌で恤兵金の各縣の據出高が出てゐたが福島縣が上位にあることを見て嬉れしかつたとか、

（二）慰問文は小學生兒童のがよい。それも子供の造つたまゝのがよい先生が修正して謄寫したのなどはあまり感心しないとか

（三）東京の女學校卒業生の結婚希望に兵隊といふのがなかつたのは、どういふわけかと色々參考になることが多かつた、尙ほ附加へておくが杭州といへば事變當初占領した所でこの地にゐる兵隊は戰爭も忘れる位に呑氣なんだらうと思ふ人があるかも知れないが實際とてもそんなところではない。勿論抗州は治安維持されてゐるが城門を一步でも出れば敵がゐる、抗州を根據地として常に戰鬪は行はれてゐるのである自分達も岳王廟や、雲林禪寺淨慈禪寺などへ行つたが物々しい兵隊の警戒を要するのには驚く程である特にこの前面は敵の第三戰區で蔣介石も南京上海を捨てゝも抗州丈は捨てたくないと言つて今尙ほ未練のある地であり第十集團軍即ち二十四ケ師團の軍がゐるので一寸の間も油斷は出來ない。色々な話をして夕刻こゝを別れ西湖の畔なる新い旅館に入る、

商況

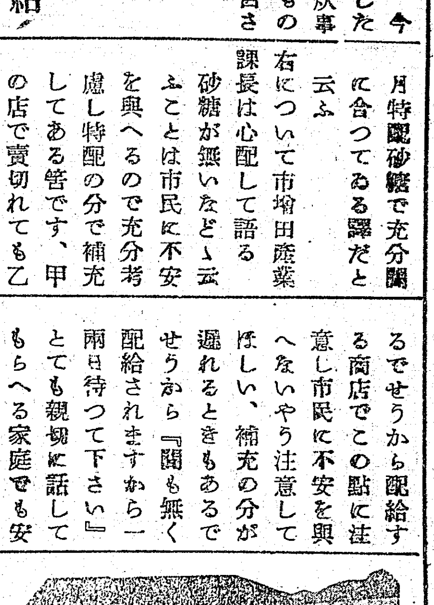
（二十八日）

【野菜】	高	安
筍	一一〇	
人參	六五	
玉葱	三五	
ニラ	九〇	
大根	三五	
玉菜	三〇	
京菜	二五	
馬鈴薯	四五	
サヤ豆	九〇	
ナダ豆	九〇	
【鮮魚】		
鰹	一九、三	
アイナメ	四五、〇	
アジ	二〇、〇〇	
スズキ	六、〇〇	
平目	六〇、〇〇	
松鯛	二五、〇〇	
大鯖	一四、四	
鯛	一〇〇、〇〇	
小鯛	九〇、〇〇	
鰯	六、四	

天氣豫報

今晚　南西の風曇り模樣後よくなる
明日　南西の風曇りぐづついた天氣です

[illegible]マルミ旅館[illegible]



ヤマハ・アコーデオン
十八圓より各種
平市公園前
角忠　佐々木商店
電話二三三番

本年度の貯蓄目標　百卅五億圓
「聖戰へ」
我も貯蓄で驀ら

翼贊貯金掛金表

滿期拂渡金	毎月掛金表 三年	五年
壹百圓ニ付	二、六六	一、五四

右ノ倍數ニテ如何程デモ差支ナシ
一、係員ガ毎月集金ニ御伺ヒ致シマス
一、貯蓄組合ノ貯金ハ特ニ御便利ニ扱ヒマス
一、其ノ他各種貯金ヲ扱ヒマス

有限責任信用組合
平庶民金庫

商工省免許
有價證券業
開店
七月三日より

公社債
株式賣買

福島縣平市字白銀町九番地
磐新證券商會
店主　蓮沼龍輔
取引擔任者　奈佐佐三
店員　柏木哲
同　本間三郞
同　佐川傳之助

山村暮鳥の夕
日時　六月廿八日午後七時
場所　マルトモホール
會費　五十錢（茶菓代）
申込　磐城每日新聞社內
文協會友外一般の參加も歡迎致します
主催　磐城文化協會

御會葬御禮
昭和十六年六月廿八日
福島縣平市字田町一〇三番地
妻　松田こゝ
男　松田浩一
外　親戚一同